

地域の底力で いのちと環境をつなぐ

～キーワードはトランジション～

2015.11.7(土) OPEN 9:30 START 10:00

会場/北海道大学フード&メディカルイノベーション国際拠点2F(札幌市北区北21条西11丁目)

参加費 一般2000円 きたネット会員1500円 大学生1000円

テッラ・マードレ札幌大会有料ゾーンとの共通チケットです。※事前申込みが必要なプログラム、別途参加費用がかかる分科会(テッラ・マードレ)があります

山田 貴宏 *yamada takahiro*

一級建築士事務所ピオフォルム環境デザイン室 代表
NPO法人トランジション・ジャパン 理事

地産地消をテーマに伝統的な木の家造りを中心とした建築/環境設計を行う。パーマカルチャーのデザイン手法・哲学を背景とした住環境づくりをめざす。建物とそれを取り巻く自然/コミュニティまで含めた幅広い環境と場づくりがテーマ。NPO法人トランジションジャパンの創立メンバー、同理事。1990年早稲田大学理工学部建築学科卒業、1992年同大学都市環境工学専修修了。清水建設株式会社、長谷川敬アトリエを経て、2005年から現職。

坂本 純科 *sakamoto jyunka*

NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト 代表

1991年北海道大学農学部卒業後、札幌市職員(環境局)。2004年退職。環境、行政、農業、福祉などのNPOを経て「エコビレッジ」に出会う。2006年から3年間ヨーロッパに滞在し、様々なエコビレッジを訪問。2009年エコビレッジライフ体験塾設立。2012年から余市を拠点に、地域資源を活用し、集落全体をエコアップするための余市エコカレッジを開設して現在に至る。

湯浅 優子 *yuasa yuko*

スローフード・フレンズ北海道 代表、テッラ・マードレ北海道 大会長

1950年長崎県生まれ、東京育ち。1974年農家実習生として新得町に移住、酪農家の湯浅健氏と結婚。1996年日本初の酪農ファームイン「つっちゃん」と農場(まきば)のへや」を開設。2002年スローフード・フレンズ帯広(現スローフード・フレンズ北海道)を設立。

永田 勝之 *nagata masayuki*

NPO法人あおとり 代表
小別沢教育ガーデン 自給の森

一級建築地事務所 アトリエ オン代表。1974年、たまごの会八郷農場(茨城県)建設スタッフ。1984年より札幌拠点。2004年、農的暮らしのレッスンを開講。現在の小別沢教育ガーデン・自給の森につながる。自立的な暮らしのスタイルと街のありようについて模索中。2011年、東日本大震災市民支援ネットワーク・札幌(むすびば)に参加。

きたネット大地と森のブース
@テッラ・マードレ会場「マルシェ」

会員の「NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト」から、パートナー農家、体験農園百姓園、余市のぼりんファーム、ガンダルフの庭をはじめ、余市町や仁木町の有機農家のこだわりの野菜・果物と加工品。「NPO法人八剣山エコケータリング」から、ミュンヘンクリスマス市などでおなじみの木のストラップとキーホルダー。その他、きたネット会員の活動から生まれたクラフト、書籍等を販売します。

同時開催!! テッラ・マードレとの連携について <http://tm-hokkaido.com/>



大地から生まれる「おいしいごはん」を食べ続けるために、私たちは大地の未来について考えるべき時を迎えています。「何をどのように食べるか」は、「どのように生きるか」ということ。私たちがこの大地の上で、健康に持続的に暮らしていくには、食べるの意味や役割、食との関係を問い直し、これまでの暮らし方や、生き方そのものを変えていかなければなりません。「テッラ・マードレ」とは「母なる大地」の意味。スローフード協会が世界中で、大地とのつながりを取り戻すために開催しているミーティングです。世界大会はイタリアトリノ市で世界の170カ国から約6000名の参加者を募り、2004年から2年おきに開催しています。2014年で6回を数え、着実に世界ネットワークを広げています。2015年11月、「テッラ・マードレ」の日本大会が「北海道」で開催されます。さまざまなコミュニティ、団体、年代が「大地をつなぐ人」というテーマで集い、大地の未来を見据えたネットワークの構築を目指します。

参加申込書 FAX. 011-215-0149 FAXまたは郵送、E-mailでお申込みください(11/4(水)締切)

お名前(フリガナ)	男・女	※申込み多数の場合先着順 参加プログラム	午前	基調講演 他	参加・不参加
ご住所 〒	所属団体・企業・職業・学校		午後	事例紹介・ディスカッション	参加・不参加
Tel			オープンプログラム きたネットとテッラ・マードレのお好きなプログラムに参加いただけます。 ※定員・有料の場合があります。テッラ・マードレのHPでご確認ください。		
Fax			交流会	18:00～(会場未定・実費)	参加・不参加
E-mail					

We love, We Save... きたネットとは

地球の森林の1/700が北海道にあります。多様な野生生物や植物がこの豊かな自然の中でいのちを育んでいます。「きたネット」は、この北海道の環境を守り、次の世代にひきついでいくために活動する、市民団体60団体(2015.9現在)、活動に賛同する個人や企業が所属する、環境活動のネットワークです。

■きたネットは、一般財団法人セブン・イレブン記念財団から助成を受け、市民の環境活動を支援する「市民環境活動支援協定」を結び、北海道の自然環境を子どもたちの未来へ引き継ぐために活動を行っています。

参加申込み

認定NPO法人 北海道市民環境ネットワーク「きたネット」

〒060-0061 札幌市中央区南1条西5丁目8番地 愛生館ビル5階

Tel. 011-215-0148 Fax. 011-215-0149 E-mail. office@kitanet.org

きたネットWeb <http://kitanet.org> きたネットFacebook <https://www.facebook.com/kitanet.org>



- JR札幌駅よりタクシー 約10分
- JR札幌駅バスターミナルより中央バス(西51)「北21条西15丁目」 徒歩5分
- 地下鉄: 南北線「北18条」駅 徒歩約20分
- 駐車場あり

Timetable

10:00～10:15 【開会式】
ごあいさつ
秋山 孝二 認定NPO法人北海道市民環境ネットワーク
井下 龍司 一般財団法人セブン・イレブン記念財団 理事・事務局長

Program 1

10:15～10:30 【INTRODUCTION】
トランジション～今日、学び考えていきたいこと
坂本 純科 さん NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト 代表

10:30～11:40 【基調講演】
持続可能な地域づくりのための「暮らしの場」をつくる
山田 貴宏 さん 一級建築士事務所ピオフォルム環境デザイン室 代表

11:40～12:50 【ランチタイム】
昼食は、テッラ・マードレ北海道札幌大会の「大地のマルシェ」でどうぞ!北海道の生産者とシェフがタイアップした「スロー」なファスト・フードのブースやカフェコーナーがあります。

12:50～13:10 「食と環境のつながり～テッラ・マードレとは」
湯浅 優子 氏
スローフード・フレンズ北海道 代表、テッラ・マードレ北海道 大会長

Program 2

北海道スタイルのトランジション・タウンを考える

13:10～14:10 【事例紹介】

- ・自然と相まみえる自給的な暮らしをめざして 小別沢教育ガーデン 自給の森(札幌市) 永田 勝之 さん
- ・森づくりという作品づくり～世代を繋ぐ拠点について 飛生アートコミュニティ(白老町) 国松 希根太 さん
- ・エコアップで地域のつながり再生～余市エコカレッジ(余市町) NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト 坂本 純科 さん
- ・エネルギー体験をつかった地域づくりの取組み(札幌市) NPO法人八剣山エコ・ケータリング ビアンカ・フルスト さん

14:10～14:50 【パネルディスカッション】
司会 坂本 純科 さん
パネリスト 永田 勝之 さん 国松 希根太 さん
ビアンカ・フルスト さん
大橋 三千雄 さん
コメンテーター 山田 貴広 さん

14:50～15:00 INFORMATION

Program 3

15:10～17:10 オープン・プログラム どなたでも気軽に参加できます
〈TALKING TIME!〉
ゲストのみなさんに自由にお話いただく、コミュニケーションタイムです。
15:10～15:40 坂本 純科 さん 国松 希根太 さん
15:40～16:10 永田 勝之 さん 大橋 三千雄 さん
〈ワークショップ〉 16:10～17:10
「ロールプレイングをつかったESD教育を体験しよう」
NPO法人八剣山エコケータリング
17:30 までマルシェでの食事やお買い物をお楽しみいただけます。
18:00～ **交流会(会場未定・実費)**



本フォーラムは一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成をいただき開催いたします。



<http://kitanetv.blogspot.jp/>
きたネットでは行事などの動画をインターネットで発信しています。本フォーラムの一部も録画配信を行う予定です。